

講習用資料

心肺蘇生法実技講習会指導要領

別紙 4

＝ 基本カリキュラムの解説 ＝

1 導入（3分）

(1) 自己紹介

双方向型でコミュニケーション（講習前の硬い空気感を和らげよう）

講習受講歴や職業
（医療関係者等）

(2) 講習内容及び到達目標の説明

保護者監視員とは・・・専属監視員の**補助**専属監視員とは・・・救命活動を実際に実施
（心肺蘇生法・AED など）行動目標（**補助**とは）○

- (ア) 119 番通報
- (イ) AED の準備
- (ウ) 他児童の保護管理
- (エ) 胸骨圧迫
- (オ) 救急車の誘導

専門的
知識判断
は**不要**2 行動目標の説明（12分）

(ア) 119 通報時のやり取り

- ・ 火事ですか？救急ですか？（**救急です**）
- ・ 住所を教えてください（学校名を伝える「**熊本市立〇〇小学校**です」）
- ・ 誰がどうしましたか？（**プールで・・・が・・・**

溺れた ケガ 体調不良など

その他の質問（意識は？呼吸の様子は？顔色、表情は？）

- ・ 救急車の誘導をお願いします（**正門側に・・・体育館側に・・・**）

学校名を伝えれば場所分かる

(ウ) 他の児童を保護、管理できること

- ・ PTSD（心的外傷後ストレス障害）⇒ 心の傷を残さないように配慮しよう
（現場から離れて教室などに移動 ⇒ 誘導中は怪我に注意）

(オ) 救急車の誘導ができること

正門・裏門・プール横など ※プールサイドまでは人と担架などが通れる通路を確認

(イ) AEDの準備ができること

は実技で指導

(エ) 胸骨圧迫ができること

3 シミュレーションの流れ（15分）

※プールサイド ～ 救急隊到着まで

15分

事故プール
サイド各担当者は、
事前指示に
従って行動**全体評価**4 実技（10分）

(1) 胸骨圧迫（指導内容）

胸の真ん中を・・・強く（5cm以上）速く（100～120回/分）絶え間なく

(2) AED（確認内容）

- ① **どこ**にあるか？ ② 機械は**電源**から！ ③ 身体に**直接**貼る（濡れた身体は拭く）

5 まとめ（5分）

- (1) 1 から 4 までの内容を振り返り、知識の**理解度**と**定着度**を確認しよう

- (2) いまいち理解されていない部分は、再度展示して、見せる効果で確認しよう

45分

15分
(残り 3
分質疑)

10分

5分